

平成 27 年 1 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

1 月は、受注や売上が、一般機器、輸送機器で増加し、食料品、繊維工業、建設業の一部も売上増加の様相である一方で、木材・木製品、窯業・土石製品、商店街、サービス業からは売上減少の報告である。

燃料費の低下が収益確保に繋がっている業種もあれば、なかなか収益に繋がらない業種もあり、混在している。

一般機器、サービス業（自動車整備業）、建設業、運輸業の人手不足・求人難が続いており、深刻化してきている。

景況は好転とする業種もでているが、まだまだ地方の景況は厳しいとする業種が多く、中小企業の景況に回復感は見られるとまでは言えない。

山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 1 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：8.8% 悪化：30.0% DI 値：▲21.2% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：15.0% 減少：33.8% DI 値：▲18.8% ポイント








収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転：10.0% 悪化：32.5% DI 値：▲22.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 1 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲42.9	▲25.0	▲66.7	▲100	▲33.3	11.1	50.0	▲24.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	全非製造業
0.0	▲44.4	▲50.0	▲58.3	20.0	28.6	▲19.2
						

全体
▲21.2


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新山口駅新幹線口の2F新売店が好調の一方で、1F既存売店の売上が激減し苦戦している。	パン・菓子製造業
	12月は対前年同月比+7.5%。1月は1/23時点で昨年の同時期+5%程度で推移している。NHK大河ドラマと世界遺産登録申請の相乗効果で、今後も順調な業績が期待される。大河ドラマゆかりの新メニュー「ふみ御膳」も好調なスタートである。 http://www.hagi-gyosyokuoukoku.com/fumigozen.html	水産食料品製造業 萩市
	販売量の減少が大きい。消費が鈍っている。大都市圏でも同様に落ち込んでおり、全体の景気が悪い。	水産食料品製造業 下関市
	時期外れの長雨が続く天候不順の影響で、作物の生育状況が遅れ気味となっている。昨今の米あまりの基調に伴い米の取引価格が低下しているが、回復するような傾向はなく、このままでは、米の生産の継続ができなくなる生産者が増えることが懸念されている。	精穀・製粉業
繊維工業	春物の販売状況に期待したいが大きく変化しないと思われる。シーズンの狭間で消費が伸びず、商品の動きが悪い状況。	下着類製造業
	景気は緩やかな改善傾向他色々言われているが、実態は変わらず悪いままである。	外衣・シャツ製造業 山口市
	メーカーが発注先を国内に求めているので、そこそこ忙しい状況で断ることも多々ある。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工数は依然として前年を下回っている。スギ中丸太価格も高止まりで推移している。	製材業・木製品製造業 山口市
	需要が低迷しており、地元工務店の受注量減少に歯止めが効かない。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	円安による原価の値上がり徐徐に利益を圧迫し始めた。印刷業界では、製紙メーカーからの「印刷用紙値上げ要請」があり、日本製紙連合会に対して値上げ反対要請を行った。円安による物価の上昇は、地方経済、中小企業にはこれから重く押し掛かってくる。	印刷 下関市
	なすすべがない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	前年同月に比べ出荷数量は全体的に減っている。	砕石製造業
	出荷量は、前月比105%、前年同月比93%。4月～12月の出荷量は対前年比100%であるが、このまま推移すると、本年度出荷量は昨年度をやや下回る見込みである。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、	生コンクリート製造業

	特に問題は生じていないが、セメントの一部にこの4月から値上との動きがある。	
	少子化や終活等においても、お墓を持たない作らない世相となり、製造は大いに影響を受けている。組合青年部もいろいろと活路を模索しているが方向が定まらない模様である。老人用施設やマンションの建設ばかりで、一般家庭住宅が建たないので、住宅関連の石工事・造園工事はない。	石工品製造業
一般機器	自動車関連、大型店や体育館などの構造物製造関連の組合員企業は、前月に引き続き好調であるが、連休明けの5月以降の見通しは出来ていない。求人難が続いており、人が来ない。原油の値下がりに伴いガソリン代も下がったが、原材料の単価安には繋がっていない。	一般機械器具製造業 防府市
	機械製造、食品加工、スーパー等の人手不足から、外国人技能実習生早期受け入れ増員の相談があり、建設関係、介護関係、農業関係からの相談も増えている。しかし、実習生の受け入れにも時間がかかり、ハローワークに登録しても臨時職員の確保が難しく、一部、派遣頼みの企業もある。そのため企業によっては残業が増えている状況。	一般機械器具製造業 宇部市
	売上高が増加傾向で推移。	一般機械器具製造業 宇部市
	金型の設備操業度は12月よりも上昇したが、国内向けは開発関係の試作が多く、出荷量が思うように伸びず苦戦している。今後は量産型の受注につながることを願っている。今年度も海外向け案件が多く、特に中国に進出の日本企業向けが主となっている。現状は4月までの受注の確保が出来ている。成形製品の新規試作も含めた設備稼働率は上昇傾向にあるが、更に工夫し、売上を増加させたい。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	鉄道車両部門は、春先までの作業量を確保できており、平成27年度も前年並みの売上高となる見込みである。精密加工部門は活気を取り戻し数ヶ月間生産に追われる状況が続くので景況は全体としても好転してきたと見ている。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	燃料価格が5ヶ月連続で値下がり収益の好転が期待できる。	各種商品小売業 山口市
	地方の中小卸売業関係企業は景気回復に至っておらず、前年並みで推移している。	各種商品小売業 下関市
	新海苔の入札が始まっているが、数量が少なく価格が高騰し、欲しい価格（1枚6～8円）の海苔の購入が出来ないでいる。今後の入札に期待したい。海苔の代わりにえび・かき等の冷凍物の備蓄が増えている。	乾物卸売業

	<p>1 2月の繁忙期ほど売れないが、時化が多く魚の入荷量が少ないため、価格が上昇し資金繰りは安定している。“ふく”は、天然物の漁獲量が多いため値下がり、養殖物は在庫が減ってきたため値上がりをしている。</p>	生鮮・魚介卸売業
小売業	<p>1月は例年、売上が上がらない大変な月であるが、今年も人出の少ない日が多かった模様であるが、21日以降はメーカーの新製品の発売があり、少しずつ回復してきた。これからは、エステティックの実習も含めて、お客様に喜んでいただける販売を心掛け、より一層努力したい。</p>	化粧品小売業
	<p>組合員は小売業者が多く、1 2月商戦では少し盛り上がりを見たが1月は売上減少である。地区の人口も徐々に減少し共働き世帯も多く、交通弱者の高齢者が時々買い物に訪れる以外は、商店街の人通りは日中はない。そんな中で鮮魚店は、大型店との商品差別化（鮮度で勝負）を図り商いも順調である。食堂やカラオケ喫茶などのサービス業は岩国・柳井方面まで出かけず（交通費節約の為）地元を利用する人が多く順調に見える。また、今後実施されるプレミアム商品券に一過性かもしれないが期待をしている。地区の他の中小企業者の動向は、建設業では、人手不足もあって仕事がこなせない程の仕事量があり暇な業者は無く、今後は採算面が好転することに期待をしている。ガソリン等燃料が引き続き値下がり一安心である。福祉関連は、前月に続き看護師やヘルパーなど職員の確保に苦勞している施設が多く、これが賃金の上昇につながっており他業種にも波及している。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>美容等の女性向きの販売は前年同月比でプラスとなっているが、高級品・高額商品はマイナスの状況が続いている。相変わらず個人消費の低迷が続いている。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>初売は降雪により人の出足は芳しくなく、以降も売上・客数共に前年を下回る状況で、昨年来からの厳しい売上状況が続いている。</p>	各種商品小売業 長門市
商店街	<p>年明けから来街者数が少し減っている。駐車場の利用者も減少している。セール時期となり販売価格も低下。1・2月はイベントの開催もなく、商店街は厳しい状況である。</p>	山口市
	<p>地域内に不況で閉店となった同業店があったので、地域の競合が減り収益が好転するのではないかと期待したが、他の地域からの広告が増え、お客が流出している。</p>	萩市
サービス業	<p>年が明けても状況は変わらず、消費が鈍い動きのままである。顧客の店内商品購入単価もジリジリ下がっている。</p>	美容業
	<p>組合員の業況が悪い。消費税増税に増税後も対応できていない。アベノミクスで業界も活力が出るよう期待したい。</p>	理容業

	<p>少子化の影響が大きい自動車業界としてのPR不足もあり、若年層の自動車整備士の確保が難しくなっている。今年も国と連携して高校訪問等の人材確保の取組みに力を入れたい。</p>	自動車整備業
	<p>自動車販売数の減少と同様、盛り上がりには欠ける。3月決算に向け、業界全体で盛り上がってもらいたい。</p>	
	<p>フィットネスジムは65歳以上の男性会員が増加傾向にある。スイミングは少子化の影響をどう補っていくかが課題であり、春からの新入会を考察中である。重油価格が下がってきたのは経費の削減の好材料。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>宴会は前年どおりの集客だったが、ビジネスの宿泊者が少なく大苦戦であった。お土産もあまり購入がなかった。12月と同じく部屋数は少ないが“ふく”が提供できる旅館は高額であっても好調の模様であった。しかし1月の財布の紐はとて固く、売上は前年より減少し、全体的に下関地区の旅館業界の景況は悪い。</p>	旅館業 下関市
	<p>1月分の売上高は12%減少。人件費等の削減は進んでいるが経費全体の削減は微妙。収益状況も売上減により変化なし。資金繰りについても年末から好転していない。全体的に景気は悪化。</p>	旅館業 長門市
	<p>稼ぎ時の12月に実施された衆議院選挙の影響は大で、売上が伸びなかった。県内どの地域も同様の結果である。年が明け1月になっても、客単価も上昇せず状況は好転していない。今年は大河ドラマもあり萩長門地域が良いように見えるが、“点”でのPR実施イメージであり、もう少し“面”である県域での工夫・宣伝が必要である。食に関してもタイアップが不足しており、機会喪失をしている。</p>	飲食業
	<p>クリーニング業の冬期は閑散期で厳しい季節となる。汗もあまりかかないので、汚れが表面化しにくくクリーニングの依頼が減る。以前は、お正月や成人式などで着物の着物クリーニングが多く集まっていたが、風習も薄れレンタル着物で済ませるため、クリーニングも減少している。お店によってはパート・アルバイトを休みとしているところもある。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>中電への工事申請は12月223件（当支部分173件）、前年同月216件（同181件）。太陽光発電への申請49件、オール電化申請58件（前年は太陽光30件、オール電化441件）。LED街路灯への切替・新設申請は13件（前年25件）であった。</p>	電気工事業
	<p>米軍岩国基地の再編工事が地域の工事受注能力を大幅に超えている。工事車両が増えつつある。遠方からの泊り込みも今後増えると推測される。技能者不足が深刻で受注を辞退するのに苦慮している。</p>	左官業

	地域で景気好転の気運を感じている業者は少ない模様。若年者や女性の雇用については、業者の財政難のため、行政が推進しても出来ないのが現状。新規採用をしてもなかなか続かず事業主も対応に戸惑っている。	土木工事業 柳井市
	昨年も今年も1月の工事受注は0円。今年度累計も前年度累計を下回っている。	土木工事業 周南市
	技術者不足は続いている。年度末なので、道路の小さな修復工事が目立つ。	土木工事業 下松市
	受注高は、対前年同月比で61%。今年度の累計では、対前年同月比370%。	土木工事業 萩市
	工事は2月末納期であるので、1月の発注は殆ど無い。現在、組合員は受注済みの仕事をスケジュール一杯で熟しており、雪等天候の変化を心配している。人手不足で採用も検討をしたいが、2月～5月までは、発注も殆ど無い状況が続くので、踏み切れない。燃料費が下がっており今のところは経費の削減となっている。	管工事業
運輸業	12月末の急な輸送案件時に車両不足があったが、1月は順調であった。需要がある長距離輸送であるが、ドライバー不足で車両が動かさない状況は解消されないままである。収益は前年同月比で約0.8%のやや悪化となった。燃料価格は10.1円の値下げとなったが、依然として中小輸送業者の経営は厳しい。せめて軽油引取税の引き下げを検討してほしいとの声が高い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	1月の荷動きは前年並みで、燃料価格も下落したので、今年度決算は、前年度同様の収益状況となる見込み。来年度は大手の生産縮小に比例し一割程度の輸送量減少が予想される。ドライバー不足は解消されず、車両を遊ばせている組合員もある。	一般貨物自動車運送業 防府市
	年末年始の繁忙期は過ぎたが、安定して荷動きがあり、倉庫保管も回転が速い。原油価格が下がり続け利益につながっているが、ガソリンに比べて軽油は価格変動が小さく、劇的というほど好転はしていない模様。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	燃料が世界的な動きで下がり始め組合購入価格12月10:116円を1月10:105円の現金払いとした。この冬は天候が悪く東京以北は雪で運行が困難で、北九州は景気回復がおくれており運賃の値下げの話もよく聞くが、今のところ組合では事故もなく、ETC事業も順調で運転者には感謝している。	一般貨物自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱い金額は、消費税込で前年比+2.3% (平成26年12月1日～平成27年1月20日分)。平成26年12月1日～31日分は+3.1%、平成27年1月1日～20日分は+0.3%となり、消費税を除いた金額は、ほぼ前年並みの売上であった。12月分の地区別では、周南がやや減少、下松、光が増加に転じ、防府地区は引き続き増加した。1月からは、特に、	一般旅客自動車運送業

	<p>日曜祝日のタクシー利用が大幅に減少している。主要燃料のLPGは原油価格の下落に連動し、円安が進んだが、購入単価は先月よりも5%下がった。前年1月分と比べ19%の安価となっている。車両代や整備費用が上昇している中、燃料費が下がるのは大いに助かっている模様だが、まだまだ地方の景況は厳しい状況が続くものと思われる。</p>	
	<p>売上高は事業者により微増のところもあれば大幅減少のところもある。トータルでは少し減少しているが、全体的には不変の範囲である。</p>	<p>港湾運送業</p>